



2021年3月期 決算説明資料

株式会社イントラスト
〈証券コード：7191〉



本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。さまざまな要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

サマリー

業績

- 売上高は前年同期比**115.9%**の**4,203**百万円、
売上総利益は同**112.2%**の**2,126**百万円と大きく増加
- 販管費は同**111.8%**の増加、営業利益は同**112.5%**の**1,149**百万円で着地
- 医療・介護分野はコロナ禍の影響がありつつも、売上が同**279.9%**と大きく増加
- 年間配当は、**11**円となり、前期から**2**円増配

2022年3月期 計画

- 売上高 **5,000**百万円 営業利益 **1,270**百万円
- コロナウイルスは概ね上期中に影響を与え、その後緩やかに回復する想定
- 配当は1円増配の12円を計画

1. 2021年3月期 業績
2. 2022年3月期 会社計画
3. 会社情報

1. 2021年3月期 業績

売上および営業利益ともに成長

売上は**115.9%**の増収

営業利益は**112.5%**の増益

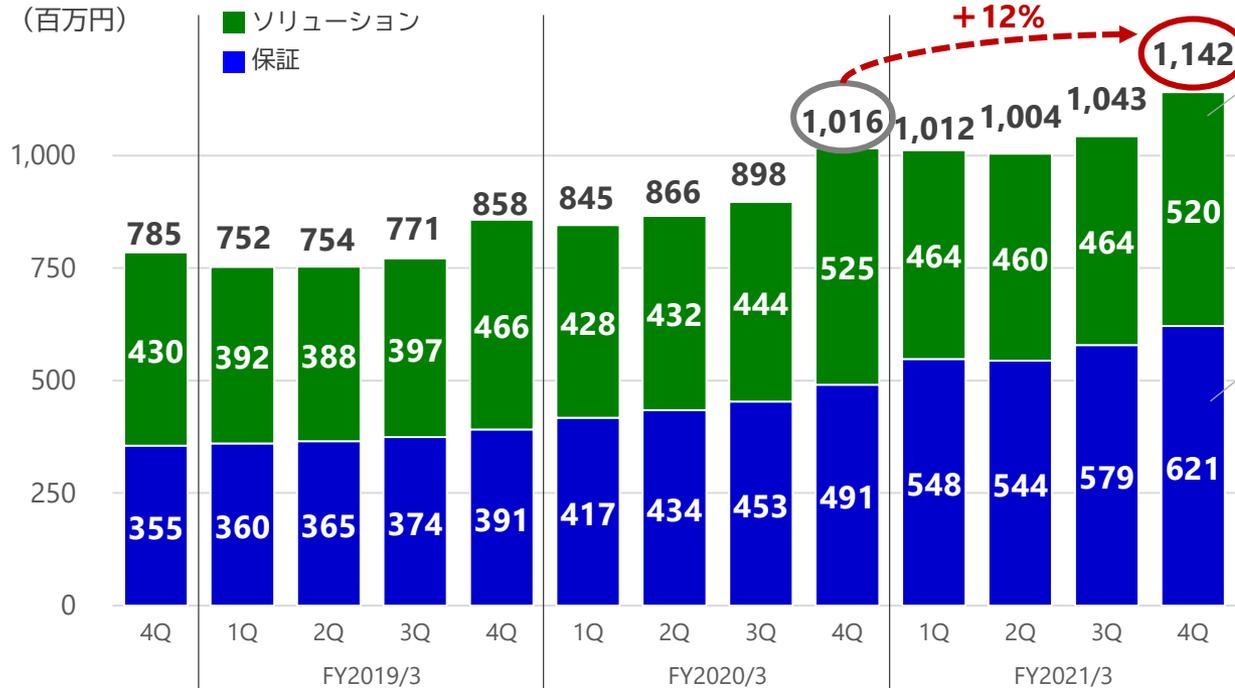
- コロナ禍の影響で新規顧客の開拓に一部遅れがあったものの、家賃債務保証と医療費用保証の成長により大幅な増収を達成
- 新基幹業務システムの入替えに係る費用と養育費保証のトライアル商品の貸倒コスト増を吸収し増益

| (百万円) | 2020/3 (前期) | 2021/3 (今期) | (前期比) |
|-------|----------------|----------------|--------|
| 売上高 | 3,626 | 4,203 | 115.9% |
| 営業利益 | 1,021 | 1,149 | 112.5% |
| (利益率) | 28.2% | 27.4% | - |
| 経常利益 | 1,026 | 1,153 | 112.4% |
| (利益率) | 28.3% | 27.4% | - |
| 純利益 | 687 | 760 | 110.7% |
| (利益率) | 19.0% | 18.1% | - |

売上高の四半期推移

売上は保証事業が大幅成長 前年同期比112% (+126百万円)

分割計上により翌期以降の収益原資となる
前受収益は946百万円 (前年同期比132.1%)



ソリューション事業

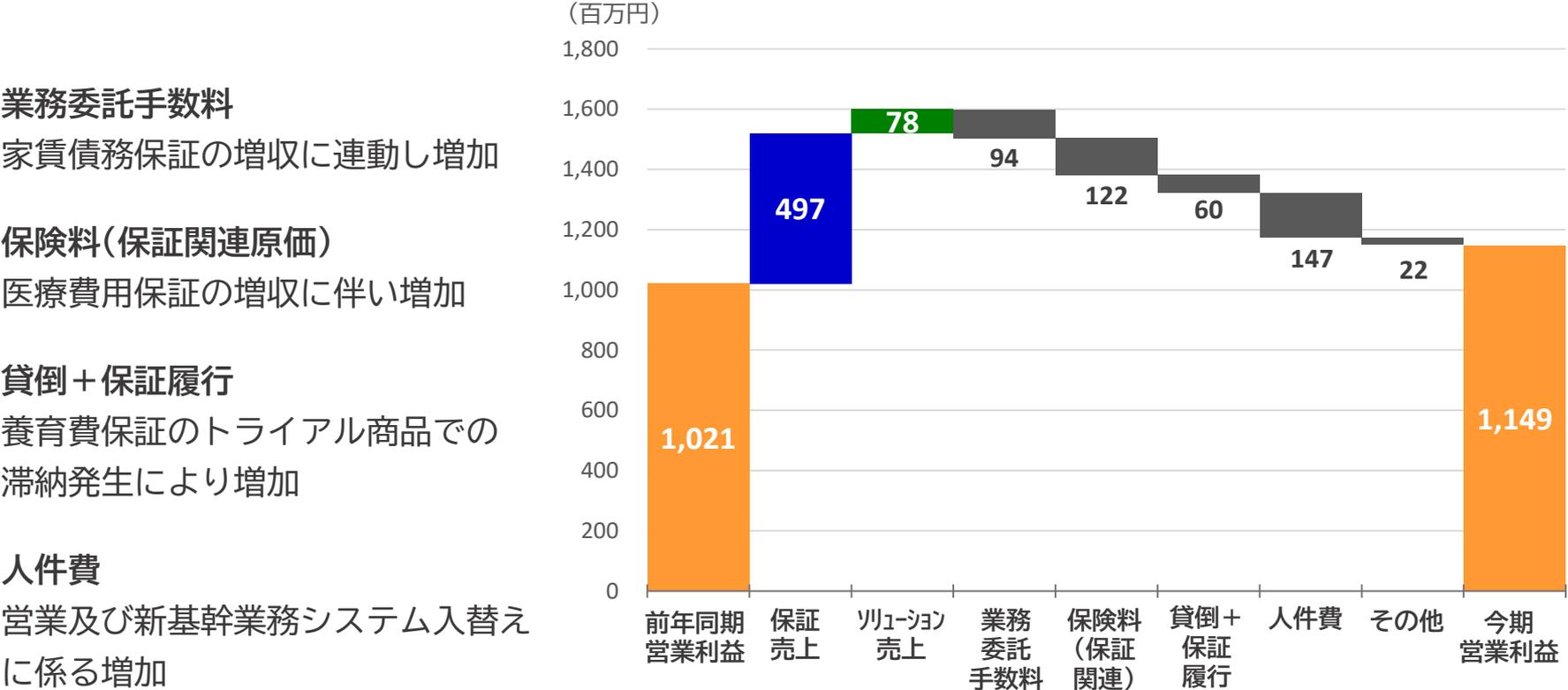
契約対象の一部がC&Oサービスから
保証事業にシフト
前年同期比99.1%(△4百万円)

保証事業

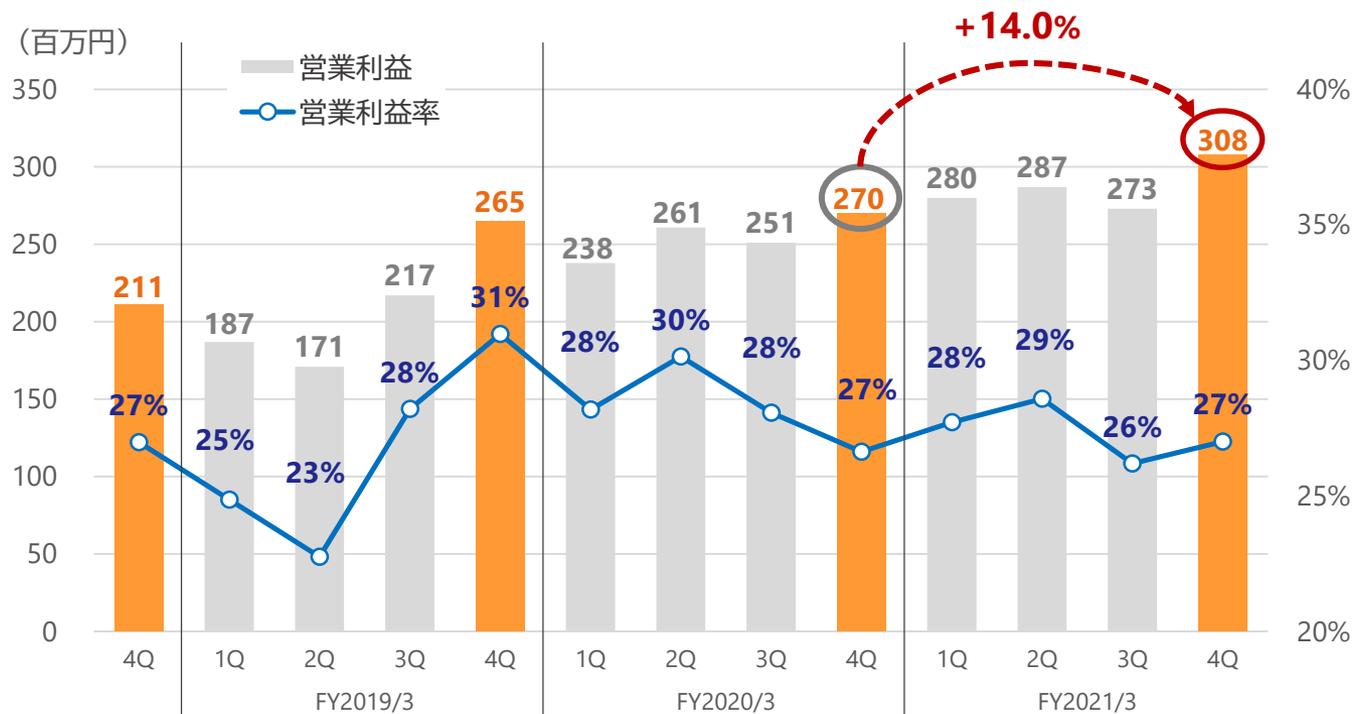
家賃債務保証の新規契約続伸や
ストック収入による保証事業の成長
前年同期比126.6%(+130百万円)

営業利益の増減分析(対前期)

コロナ禍においても滞納や回収のパフォーマンスは
ほぼ影響を受けず、間接コストは一定の抑制ができた

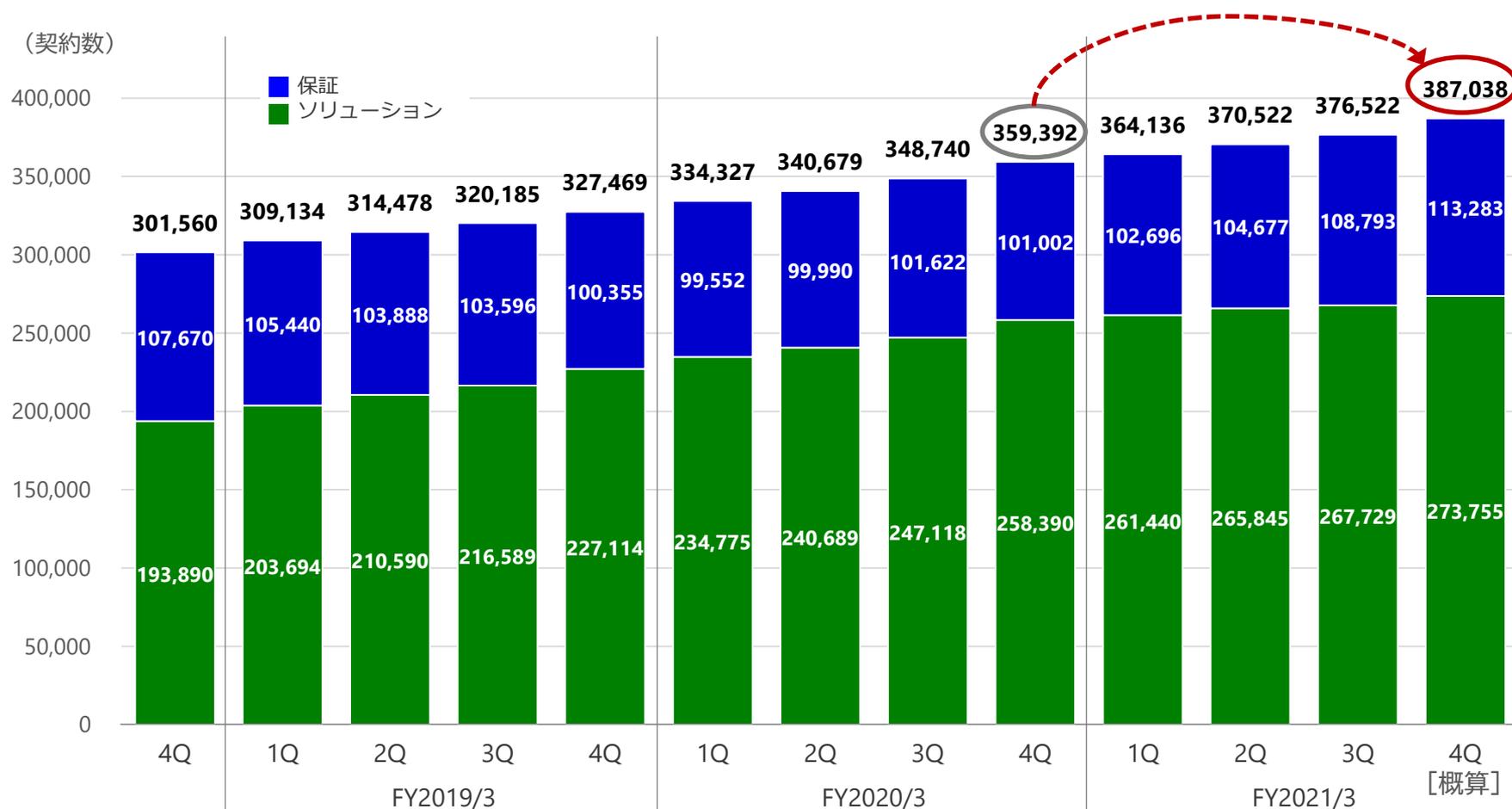


営業利益は堅調に推移(営業利益率:27.0%)



養育費保証のトライアル商品の貸倒費用を計上 (24百万円)

創業以来、保有件数は増加を続け着実に積み上がる



コロナ禍により一定の影響はあるものの、市場浸透を進め、売上増加の機会を拡大させる

提携先データ

連帯保証人代行制度スマホス

56 医療機関(対前期末+39)

15,522 病床数

医療費用保証付き入院セット

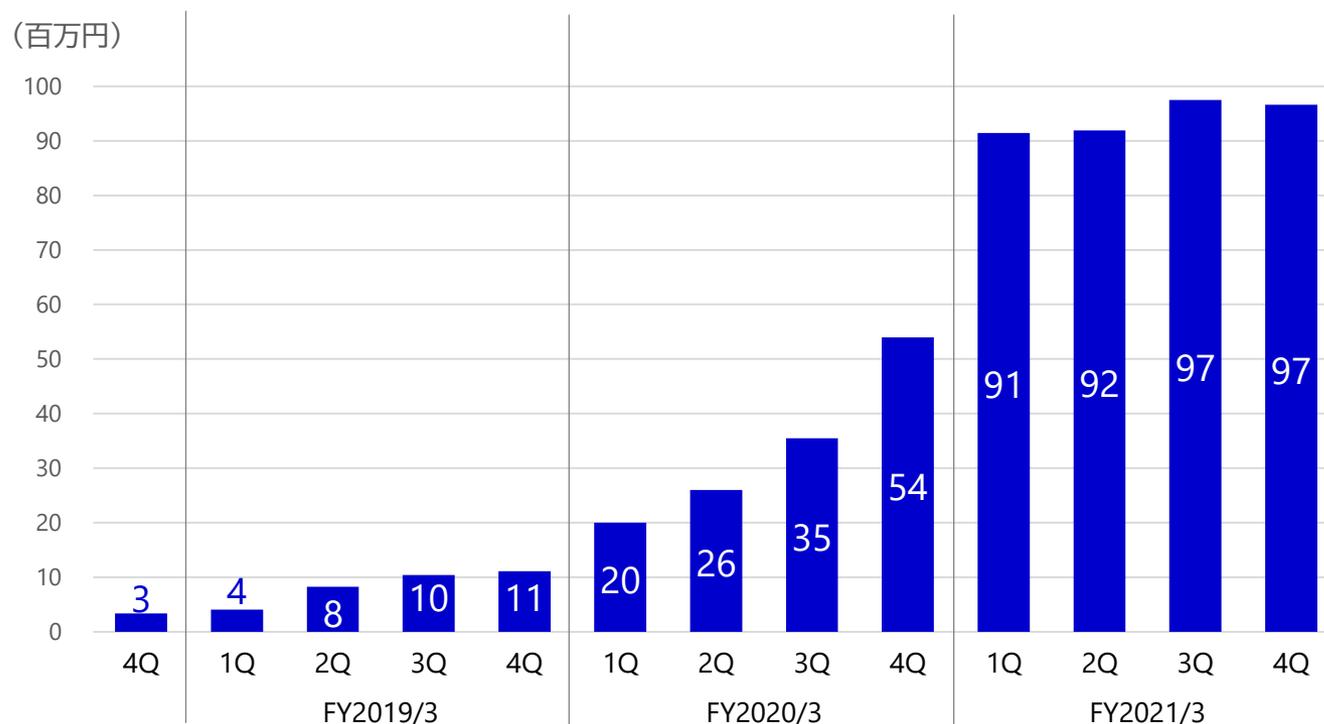
及びその他商品

158 医療機関(対前期末+49)

33,099 病床数

介護費用保証

199 介護事業者(対前期末+26)



※「スマホス」は保証料病院負担型の医療費用保証商品

その他財務データ(貸借対照表)

| (百万円) | 2020/3 (前期) | 2021/3 (今期) | 増減額 |
|-----------|----------------|----------------|-----|
| 流動資産 | 4,100 | 4,677 | 577 |
| 現金及び預金 | 3,017 | 3,075 | 58 |
| 売掛金 | 241 | 252 | 10 |
| 立替金 | 1,059 | 1,537 | 477 |
| その他 | 246 | 340 | 94 |
| 貸倒引当金 | -464 | -527 | -62 |
| 固定資産 | 626 | 866 | 240 |
| 有形固定資産 | 57 | 51 | -6 |
| 無形固定資産 | 138 | 239 | 101 |
| 投資その他の資産 | 430 | 575 | 145 |
| 流動負債 | 1,303 | 1,551 | 247 |
| 内・前受収益 | 716 | 946 | 230 |
| 内・保証履行引当金 | 85 | 102 | 16 |
| 固定負債 | 47 | 59 | 12 |
| 純資産 | 3,376 | 3,933 | 557 |
| 総資産 | 4,726 | 5,544 | 818 |

家賃分野の事前立替型の
商品拡販に連動し増加

回収活動は引続き安定して対応
できており、微増にとどまる

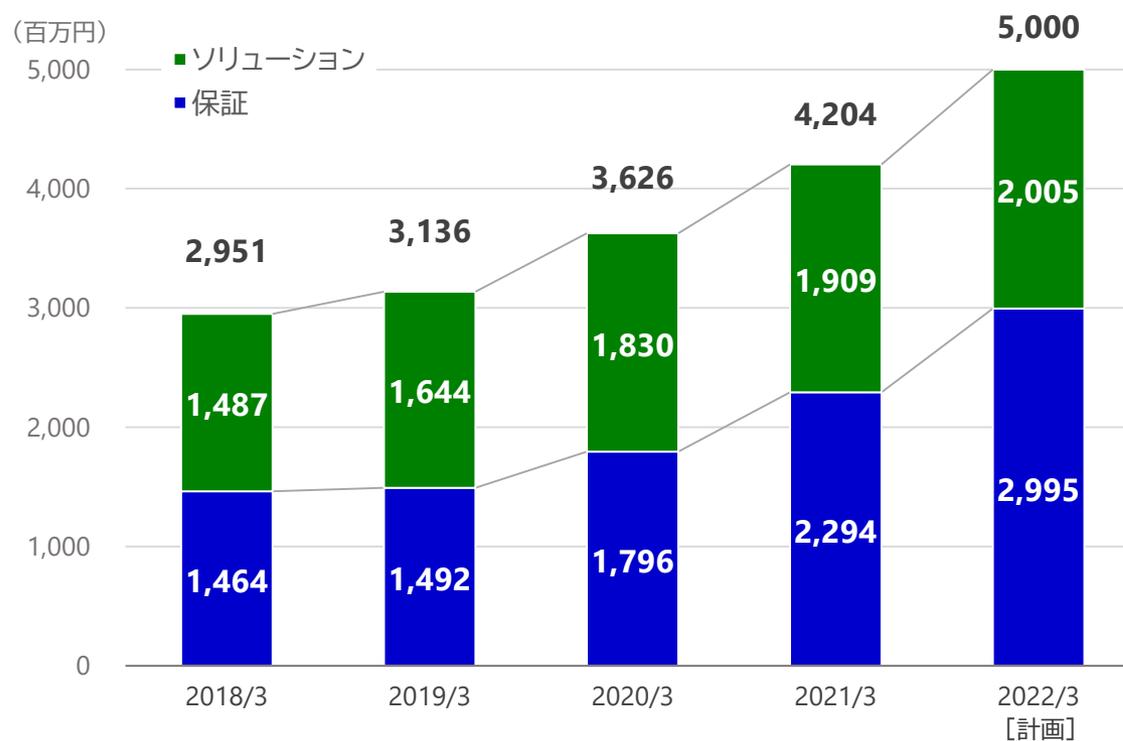
家賃債務保証の新規契約の増加
に伴い、前受収益が増加

2. 2022年3月期 会社計画

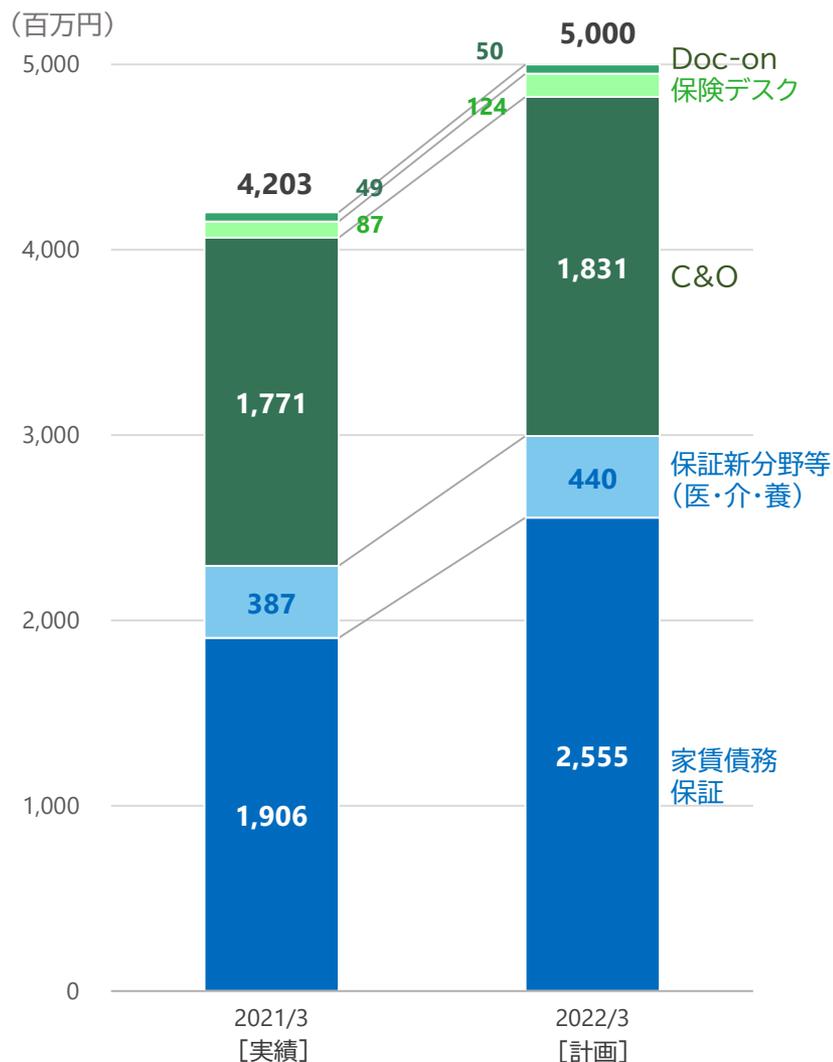
売上は2021年3月期の増収トレンドを上回る成長を達成させる
 長期成長に向けた投資を積極的に行いつつ、一定の営業利益を確保する
 コロナ影響は概ね上期に影響が残り、その後緩やかに回復していくと想定

| (百万円) | 2021/3期 (実績) | 2022/3期 (計画) | (前期比) | 上期計画 |
|-------|-----------------|-----------------|--------|--------------|
| 売上高 | 4,203 | 5,000 | 118.9% | 2,340 |
| 営業利益 | 1,149 | 1,270 | 110.4% | 590 |
| (利益率) | 27.4% | 25.4% | - | 25.2% |
| 経常利益 | 1,153 | 1,275 | 110.5% | 592 |
| (利益率) | 27.4% | 25.5% | - | 25.3% |
| 純利益 | 760 | 835 | 109.8% | 390 |
| (利益率) | 18.1% | 16.7% | - | 16.7% |

中期経営計画の初年度として着実に売上目標を達成させる



売上高の年間計画(詳細)



ソリューション事業

Doc-onサービス

引続き拡販を進める

保険デスクサービス

少額短期保険を中心に成長を加速させる

C&Oサービス

連帯保証人不要スキームなどを中心に引続き成長させる

保証事業

家賃債務保証

大手管理会社をターゲットに大幅成長を見込む

医療費用保証

コロナ禍による新規顧客開拓の鈍化と、既契約の滞納の適正化による保証料の低下を見込。病院向けセミナーへの参加など、拡販に向けた取り組みを継続

介護費用保証

コロナ収束を見据えて、拡販に向けた取り組みを継続

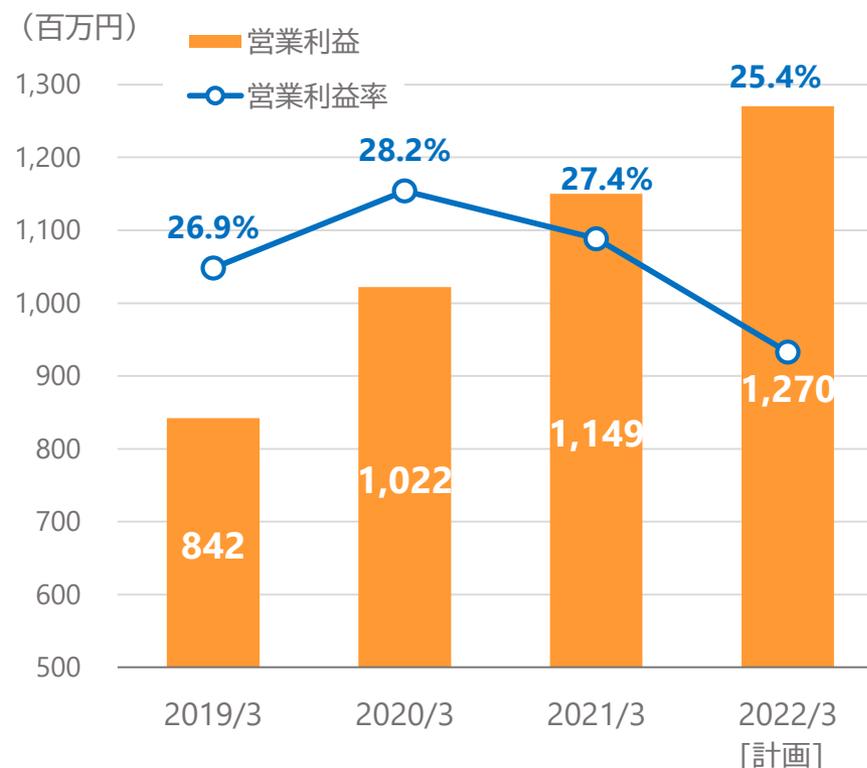
養育費保証

投資を確実に実行し、商品内容を改良へ、事業基盤を確立する

コロナ影響も加味し、システム投資や先行投資を行いながらも、安定した利益成長を継続

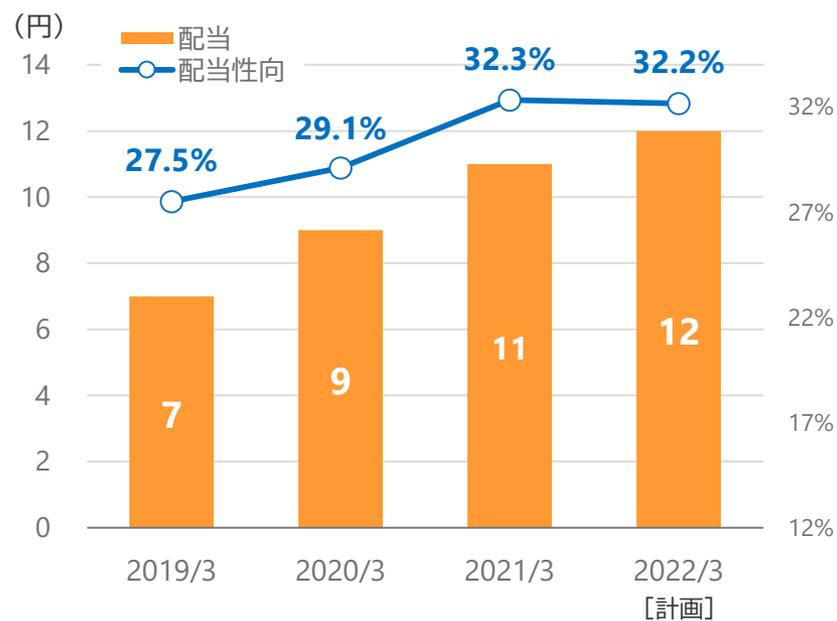
先行投資による費用影響

- 新基幹システム関連(減価償却費)
△39百万円
- コールセンター拡張
△54百万円
- 養育費保証の広告等先行投資(増額分)
△19百万円



配当は株主への還元方針に基づき1円増配の12円を計画

※配当性向30%~40%



3. 会社情報

会社概要 (2021年3月末時点)



- 会社名 : 株式会社イントラスト
- 設立年月日 : 2006年3月
- 資本金 : 10億44百万円
- 決算期 : 3月
- 代表取締役 : 桑原 豊
- 本社所在地 : 東京都千代田区麹町1-4
- 主な拠点 : 秋田、仙台、富山、名古屋、大阪、福岡、
横浜ソリューションセンター
- 従業員数 : 208名(アルバイト・パート含む)
- 事業内容 : 保証事業・ソリューション事業



様々なニーズにオーダーメイドのサービスで応える

保証事業

リスク+サービスのセットを保証として提供



ソリューション事業

保証に関わる専門性をサービスとして提供

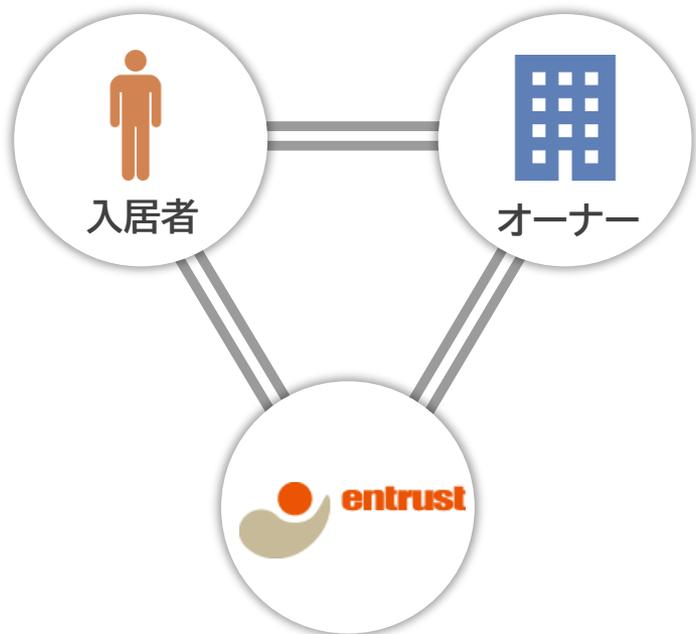
膨大な
マーケット



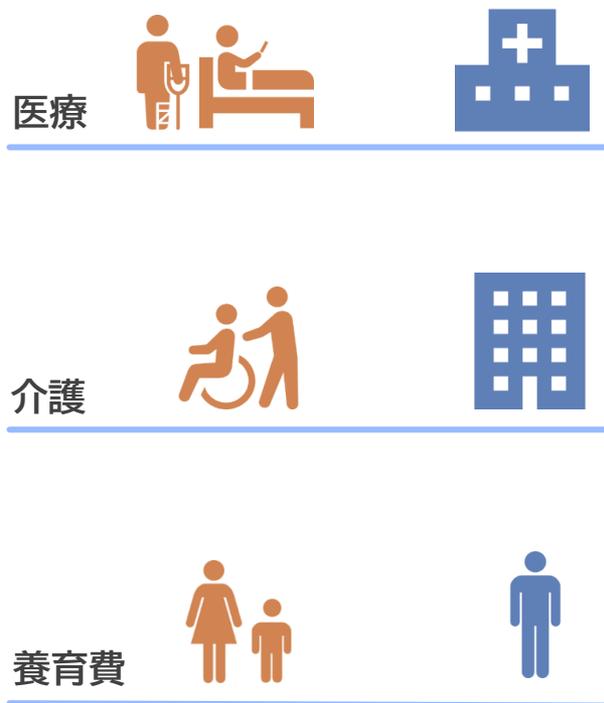
保証事業

債権の滞納リスクを引き受け、保証に係る各種サービスを提供

例えば
家賃債務保証



他事業
へ展開



ソリューション事業

家賃債務保証で培ったノウハウで独自の業務支援サービスを提供

| | | | |
|---|--|--|---|
| 審査業務  | 契約管理  | 集金代行  | |
| 滞納管理  | SMS送信  | 調査訪問  | 法対応支援  |
| 保険加入促進  | 未入金案内  | コールセンター  | 決済機能  |



固有の顧客ニーズに対して
専門サービスで解決する

イントラストは保証スキームで社会インフラを
提供しサービスと流通の活性化を実現します

株式会社イントラスト



資料中の業績見通しに関する記述は現時点における情報に基づき判断したものであり、実際の業績はさまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等があります。

本資料に関するご意見・ご質問、及びその他IRに関するご意見・ご質問は下記窓口までお問い合わせください。

問合せ窓口：株式会社イントラスト IR
Email： ent-ir@entrust-inc.jp